

開講開始年度	2021
授業コード	1SA111A
担当教員	大森 拓哉
科目	情報処理論 A
単位数	⑤ 必修 2 単位
授業概要	<p>③ 医療分野においてもコンピュータによる資料整理やインターネットによる情報収集が欠かせない。社会に出てからはもちろん、在学中もこれらの知識は実習や卒業研究などで必須である。</p> <p>ここでは、実際にコンピュータを使用しながら情報の整理や加工ならびに伝達するために必要な基本的技術を修得することを目指す。さらに、プログラミングの基礎を学び、ソフトウェアについて理解を深める。</p>
学位授与方針の関連 到達目標	<p>《学位授与方針との関連》</p> <p>(1)確かな知識と技術の修得・研鑽</p> <p>心の健康の保持増進に寄与する者として必要な基本的知識及び技術を修得し、これを実践の場で活用することができる。</p> <p>① 《一般目標(GIO)》</p> <p>必要な情報を的確に収集し、それを整理できるようになる。また整理された情報を必要とする人に伝達する手段を学ぶ。ここでは高度な技術を学ぶことが目的ではなく、最低限必要な技術を確実に修得することを目指す。</p> <p>《個別目標(SBOs)》</p> <p>①メールや SNS のマナーやルールについて、根拠を示しながら説明することができる。</p> <p>②表計算ソフト(エクセル)を使って基本的演算、グラフ作成ができ、与えられたデータの処理ができる。</p> <p>③文書表現やビジュアル表現について、適切で効果的に利用することができる。</p> <p>④プレゼンテーションソフト(パワーポイント)を使ってスライドを作成し、プレゼンテーションができる。</p> <p>⑤プログラミングの基礎を習得し、ソフトウェアによる情報処理のしくみを説明することができる。</p>
授業計画	<p>*** <担当教員> ***</p> <p>⑥ 大森 拓哉、坪下 幸寛</p> <p>*** <授業計画> ***</p> <p>②④ 1.情報の運用とセキュリティ[講義・演習] 情報の運用とセキュリティについて解説する。</p> <p>2.数値分析[講義・演習] エクセルを用いて数値分析の基礎を解説する。</p> <p>3.インターネットコミュニケーション[講義・演習] SNS や Web 上のマナーやルールについて解説する。</p> <p>4.文書表現[講義・演習] ビジネス文書について解説する。</p> <p>5.プレゼンテーションとビジュアル表現[講義・演習] プレゼンテーションの意義から手法までを解説する。</p> <p>6.プレゼンテーション・スライド作成 1[講義・演習] パワーポイントを用いてプレゼンの資料を作成する。</p>

	<p>7.プレゼンテーション・スライド作成 2[講義・演習] パワーポイントを用いてプレゼンの資料を作成する。</p> <p>8.プレゼンテーション・プレゼン 1[講義・演習] 作成した資料を使いプレゼンテーションを行う。</p> <p>9.プレゼンテーション・プレゼン 2[講義・演習] 作成した資料を使いプレゼンテーションを行う。</p> <p>10.プログラミング・基礎解説 1[講義・演習] プログラミングの基礎的な命令や関数について解説する。</p> <p>11.プログラミング・基礎解説 2[講義・演習] プログラミングの基礎的な命令や関数について解説する。</p> <p>12.プログラミング・プログラム作成 1[講義・演習] 各自、プログラムを作成する。</p> <p>13.プログラミング・プログラム作成 2[講義・演習] 各自、プログラムを作成する。</p> <p>14.プログラミング・プレゼン 1[講義・演習] 作成したプログラムをプレゼンする。</p> <p>15.プログラミング・プレゼン 2[講義・演習] 作成したプログラムをプレゼンする。</p> <p>※すべての回、全教員で対応する。</p> <p>★フィードバック方法:授業内試験のフィードバックは講義内で行う。</p>
授業外学習(予習・復習等)の 具体的内容と必要な標準的な 時間	<p>1.予習:授業に関連した教科書の情報運用の章を読んでおくこと。</p> <p>2.予習:授業に関連した教科書の数値分析の章を読んでおくこと。</p> <p>3.予習:授業に関連した教科書のインターネットコミュニケーションの章を読んでおくこと。</p> <p>4.予習:授業に関連した教科書の文書表現の章を読んでおくこと。</p> <p>5-9.予習:授業に関連した教科書のプレゼンテーションおよびビジュアル表現の章を読んでおくこと。</p> <p>10-15.予習:授業に関連した教科書のビジュアル表現の章を読んでおくこと。</p> <p>※1-15.復習:予習および授業で扱った教科書の内容をノートにまとめておくこと。</p> <p>※全ての回、予習は45分、復習は30分必要とする。</p> <p>※授業外学習時間は60時間必要であるため、不足分は休暇等を利用して復習すること。</p>
テキスト	<p>テキスト名:考える 伝える 分かちあう 情報活用力</p> <p>ISBNコード:978-4-908434-25-9</p> <p>出版社名:noa 出版</p>
参考書	
成績評価の方法・基準	<p>⑦ 定期試験実施:無 再試験実施:無</p> <p>成績評価方法:課題(50%)、プレゼンテーション(50%)</p>
URL	
備考	<p>USB フラッシュメモリーを持参してください。</p> <p>《実務経験のある教員による授業科目》</p>

	科目代表教員の実務経験有無:無
--	-----------------

開講開始年度	2021
授業コード	1SA111D
担当教員	大森 拓哉
科目	情報処理論 A1
単位数	⑤ 必修 2 単位
授業概要	<p>③ 医療分野においてもコンピュータによる資料整理やインターネットによる情報収集が欠かせない。社会に出てからはもちろん、在学中もこれらの知識は実習や卒業研究などで必須である。</p> <p>ここでは、実際にコンピュータを使用しながら情報の整理や加工ならびに伝達するために必要な基本的技術を修得することを目指す。さらに、プログラミングの基礎を学び、ソフトウェアについて理解を深める。</p> <p>データサイエンスについて、演習以外の内容は、オンデマンドを併用して解説する。オンデマンドでは、1. 社会におけるデータ・AI 利活用(社会で起きている変化、社会で活用されているデータ、データ・AI の活用領域、データ・AI 利活用のための技術、データ・AI 利活用の現場、データ・AI 利活用の最新動向)、2. データリテラシー(データを読む、データを説明する、データを扱う)、3. データ・AI 利活用における留意事項(データ・AI を扱う上での留意事項、データを守る上での留意事項)を解説する。</p>
学位授与方針の 関連 到達目標	<p>《学位授与方針との関連》</p> <p>(1)確かな知識と技術の修得・研鑽</p> <p>心の健康の保持増進に寄与する者として必要な基本的知識及び技術を修得し、これを実践の場で活用することができる。</p> <p>① 《一般目標(GIO)》</p> <p>必要な情報を的確に収集し、それを整理できるようになる。また整理された情報を必要とする人に伝達する手段を学ぶ。ここでは高度な技術を学ぶことが目的ではなく、最低限必要な技術を確実に修得することを目指す。</p> <p>《個別目標(SBOs)》</p> <p>①メールや SNS のマナーやルールについて、根拠を示しながら説明することができる。</p> <p>②表計算ソフト(エクセル)を使って基本的演算、グラフ作成ができ、与えられたデータの処理ができる。</p> <p>③文書表現やビジュアル表現について、適切で効果的に利用することができる。</p> <p>④プレゼンテーションソフト(パワーポイント)を使ってスライドを作成し、プレゼンテーションができる。</p> <p>⑤プログラミングの基礎を習得し、ソフトウェアによる情報処理のしくみを説明することができる。</p> <p>⑥データサイエンスの基礎を修得し、データサイエンスについて概説することが出来る。</p>
授業計画	<p>*** <担当教員> ***</p> <p>⑥ 大森 拓哉、坪下 幸寛</p> <p>オンデマンド担当:大森 拓哉、坪下 幸寛、吉田 清隆、橋本 晃生</p> <p>*** <授業計画> ***</p> <p>②④ 1.情報の運用とセキュリティ[講義・演習]</p> <p>情報の運用とセキュリティについて解説する。</p> <p>2.数値分析[講義・演習]</p> <p>エクセルを用いて数値分析の基礎を解説する。</p> <p>3.インターネットコミュニケーション[講義・演習]</p> <p>SNS や Web 上のマナーやルールについて解説する。</p> <p>4.文書表現[講義・演習]</p> <p>ビジネス文書について解説する。</p>

	<p>5.プレゼンテーションとビジュアル表現[講義・演習] プレゼンテーションの意義から手法までを解説する。</p> <p>6.プレゼンテーション・スライド作成 1[講義・演習] パワーポイントを用いてプレゼンの資料を作成する。</p> <p>7.プレゼンテーション・スライド作成 2[講義・演習] パワーポイントを用いてプレゼンの資料を作成する。</p> <p>8.プレゼンテーション・プレゼン 1[講義・演習] 作成した資料を使いプレゼンテーションを行う。</p> <p>9.プレゼンテーション・プレゼン 2[講義・演習] 作成した資料を使いプレゼンテーションを行う。</p> <p>10.プログラミング・基礎解説 1[講義・演習] プログラミングの基礎的な命令や関数について解説する。</p> <p>11.プログラミング・基礎解説 2[講義・演習] プログラミングの基礎的な命令や関数について解説する。</p> <p>12.プログラミング・プログラム作成 1[講義・演習] 各自、プログラムを作成する。</p> <p>13.プログラミング・プログラム作成 2[講義・演習] 各自、プログラムを作成する。</p> <p>14.プログラミング・プレゼン 1[講義・演習] 作成したプログラムをプレゼンする。</p> <p>15.プログラミング・プレゼン 2[講義・演習] 作成したプログラムをプレゼンする。</p> <p>※すべての回、全教員で対応する。 ★フィードバック方法:授業内試験のフィードバックは講義内で行う。</p> <p>②④ <オンデマンド授業> オンデマンド授業の視聴については、授業進行との兼ね合を考慮した上で適時指示する。 視聴後、オンデマンド授業内容について試験を実施する。</p> <p>1. 社会におけるデータ・AI 利活用[講義] 社会で起きている変化と活用されているデータ。AI の活用事例</p> <p>2. データ・AI 利活用のための技術[講義] AI 利活用の現場と最新の動向について</p> <p>3. データリテラシー・データを読む[講義] データを読解について</p> <p>4. データリテラシー・データを扱う[講義] データの取り扱いと活用</p> <p>5. データ・AI 利活用における留意事項[講義] データや AI の利活用と留意点について</p> <p>★フィードバック方法:授業内試験のフィードバックや質問等のサポートは、WEB 等オンラインで行う。</p>
授業外学習(予習・復習等)の具	<p>1.予習:授業に関連した教科書の情報運用の章を読んでおくこと。</p> <p>2.予習:授業に関連した教科書の数値分析の章を読んでおくこと。</p> <p>3.予習:授業に関連した教科書のインターネットコミュニケーションの章を読んでおくこと。</p>

<p>体的内容と必要な標準的な時間</p>	<p>4.予習:授業に関連した教科書の文書表現の章を読んでおくこと。</p> <p>5-9.予習:授業に関連した教科書のプレゼンテーションおよびビジュアル表現の章を読んでおくこと。</p> <p>10-15.予習:授業に関連した教科書のビジュアル表現の章を読んでおくこと。</p> <p>※1-15.復習:予習および授業で扱った教科書の内容をノートにまとめておくこと。</p> <p>※全ての回、予習は45分、復習は30分必要とする。</p> <p>オンデマンド授業について</p> <p>下記テキストの各章を予習し、視聴後ノートを完成する。</p> <p>※授業外学習時間は60時間必要であるため、不足分は休暇等を利用して復習すること。</p>
<p>テキスト</p>	<p>テキスト名:考える 伝える 分かちあう 情報活用力</p> <p>ISBNコード:978-4-908434-25-9</p> <p>出版社名:noa 出版</p> <p>データサイエンス入門第2版 ISBN978-4-7806-0730-7 学術図書出版社</p>
<p>参考書</p>	
<p>成績評価の方法・基準 ⑦</p>	<p>定期試験実施:無 再試験実施:無</p> <p>成績評価方法:課題(50%)、プレゼンテーション(50%)</p> <p>* オンデマンド授業の確認試験の成績は、授業中の課題成績に含まれる。</p>
<p>URL</p>	
<p>備考</p>	<p>USB フラッシュメモリーを持参してください。</p> <p>《実務経験のある教員による授業科目》</p> <p>科目代表教員の実務経験有無:無</p>

開講開始年度	2021
授業コード	1SA111E
担当教員	坪下 幸寛
科目	情報処理論 A2
単位数	⑤ 必修 2 単位
授業概要	<p>③ 医療分野においてもコンピュータによる資料整理やインターネットによる情報収集が欠かせない。社会に出てからはもちろん、在学中もこれらの知識は実習や卒業研究などで必須である。</p> <p>ここでは、実際にコンピュータを使用しながら情報の整理や加工ならびに伝達するために必要な基本的技術を修得することを目指す。さらに、プログラミングの基礎を学び、ソフトウェアについて理解を深める。加えて、データ駆動型社会への転換の中で必須となっているデータサイエンスの基礎知識習得を目指す。</p> <p>データサイエンスについては、オンデマンドを活用して解説する。オンデマンドでは、1. 社会におけるデータ・AI 利活用(社会で起きている変化、社会で活用されているデータ、データ・AI の活用領域、データ・AI 利活用のための技術、データ・AI 利活用の現場、データ・AI 利活用の最新動向)、2. データリテラシー(データを読む、データを説明する、データを扱う)、3. データ・AI 利活用における留意事項(データ・AI を扱う上での留意事項、データを守る上での留意事項)を解説する。</p>
学位授与方針の 関連 到達目標	<p>《学位授与方針との関連》</p> <p>(1)確かな知識と技術の修得・研鑽</p> <p>心の健康の保持増進に寄与する者として必要な基本的知識及び技術を修得し、これを実践の場で活用することができる。</p> <p>① 《一般目標(GIO)》</p> <p>必要な情報を的確に収集し、それを整理できるようになる。また整理された情報を必要とする人に伝達する手段を学ぶ。ここでは高度な技術を学ぶことが目的ではなく、最低限必要な技術を確実に修得することを目指す。</p> <p>《個別目標(SBOs)》</p> <p>①メールや SNS のマナーやルールについて、根拠を示しながら説明することができる。</p> <p>②表計算ソフト(エクセル)を使って基本的演算、グラフ作成ができ、与えられたデータの処理ができる。</p> <p>③文書表現やビジュアル表現について、適切で効果的に利用することができる。</p> <p>④プレゼンテーションソフト(パワーポイント)を使ってスライドを作成し、プレゼンテーションができる。</p> <p>⑤プログラミングの基礎を習得し、ソフトウェアによる情報処理のしくみを説明することができる。</p> <p>⑥データサイエンスの基礎を修得し、データサイエンスについて概説することができる。</p>
授業計画	<p>⑥ *** <担当教員> ***</p> <p>坪下 幸寛</p> <p>オンデマンド担当:大森 拓哉、坪下 幸寛、吉田 清隆、橋本 晃生</p> <p>*** <授業計画> ***</p> <p>②④ 1.情報の運用とセキュリティ[講義・演習]</p> <p>情報の運用とセキュリティについて解説する。</p> <p>2.数値分析[講義・演習]</p> <p>エクセルを用いて数値分析の基礎を解説する。</p> <p>3.インターネットコミュニケーション[講義・演習]</p> <p>SNS や Web 上のマナーやルールについて解説する。</p> <p>4.文書表現[講義・演習]</p> <p>ビジネス文書について解説する。</p>

	<p>5.プレゼンテーションとビジュアル表現[講義・演習] プレゼンテーションの意義から手法までを解説する。</p> <p>6.プレゼンテーション・スライド作成 1[講義・演習] パワーポイントを用いてプレゼンの資料を作成する。</p> <p>7.プレゼンテーション・スライド作成 2[講義・演習] パワーポイントを用いてプレゼンの資料を作成する。</p> <p>8.プレゼンテーション・プレゼン 1[講義・演習] 作成した資料を使いプレゼンテーションを行う。</p> <p>9.プレゼンテーション・プレゼン 2[講義・演習] 作成した資料を使いプレゼンテーションを行う。</p> <p>10.プログラミング・基礎解説 1[講義・演習] プログラミングの基礎的な命令や関数について解説する。</p> <p>11.プログラミング・基礎解説 2[講義・演習] プログラミングの基礎的な命令や関数について解説する。</p> <p>12.プログラミング・プログラム作成 1[講義・演習] 各自、プログラムを作成する。</p> <p>13.プログラミング・プログラム作成 2[講義・演習] 各自、プログラムを作成する。</p> <p>14.プログラミング・プレゼン 1[講義・演習] 作成したプログラムをプレゼンする。</p> <p>15.プログラミング・プレゼン 2[講義・演習] 作成したプログラムをプレゼンする。</p> <p>★フィードバック方法:授業内試験のフィードバックは講義内で行う。</p> <p>②④ オンデマンド授業</p> <p>オンデマンド授業の視聴については、授業進行との兼ね合を考慮した上で適時指示する。</p> <p>視聴後、オンデマンド授業内容について試験を実施する。</p> <p>1. 社会におけるデータ・AI 利活用[講義] 社会で起きている変化と活用されているデータ。AI の活用事例</p> <p>2. データ・AI 利活用のための技術[講義] AI 利活用の現場と最新の動向について</p> <p>3. データリテラシー・データを読む[講義] データを読解について</p> <p>4. データリテラシー・データを扱う[講義] データの取り扱いと活用</p> <p>5. データ・AI 利活用における留意事項[講義] データや AI の利活用と留意点について</p> <p>★フィードバック方法:授業内試験のフィードバックや質問等のサポートは、WEB 等オンラインで行う。</p>
<p>授業外学習(予習・復習等)の具体的な内容と必要な標準的な時間</p>	<p>1.予習:授業に関連した教科書の情報運用の章を読んでおくこと。</p> <p>2.予習:授業に関連した教科書の数値分析の章を読んでおくこと。</p> <p>3.予習:授業に関連した教科書のインターネットコミュニケーションの章を読んでおくこと。</p> <p>4.予習:授業に関連した教科書の文書表現の章を読んでおくこと。</p> <p>5-9.予習:授業に関連した教科書のプレゼンテーションおよびビジュアル表現の章を読んでおくこと。</p>

	<p>10-15.予習:授業に関連した教科書のビジュアル表現の章を読んでおくこと。</p> <p>※1-15.復習:予習および授業で扱った教科書の内容をノートにまとめておくこと。</p> <p>※全ての回、予習は45分、復習は30分必要とする。</p> <p>オンデマンド授業について</p> <p>下記テキストの各章を予習し、視聴後、確認試験を受講する。</p> <p>※授業外学習時間は60時間必要であるため、不足分は休暇等を利用して復習すること。</p>
テキスト	<p>テキスト名:考える 伝える 分かちあう 情報活用力</p> <p>ISBNコード:978-4-908434-25-9</p> <p>出版社名:noa 出版</p> <p>データサイエンス入門第2版 ISBN978-4-7806-0730-7 学術図書出版社</p>
参考書	
成績評価の方法・ 基準	<p>⑦ 定期試験実施:無(オンデマンド授業の定期試験も無) 再試験実施:無(オンデマンド授業の再試験も無)</p> <p>成績評価方法:課題(40%)、プレゼンテーション(40%)、オンデマンド授業の確認試験(20%)</p>
URL	
備考	<p>USB フラッシュメモリーを持参してください。</p> <p>《実務経験のある教員による授業科目》</p> <p>科目代表教員の実務経験有無:無</p>

開講開始年度	2021
授業コード	1SA111B
担当教員	大森 拓哉
科目	情報処理論 B
単位数	⑤ 必修 2 単位
授業概要	<p>③ 医療分野においてもコンピュータによる資料整理やインターネットによる情報収集が欠かせない。社会に出てからはもちろん、在学中もこれらの知識は実習や卒業研究などで必須である。</p> <p>ここでは、実際にコンピュータを使用しながら情報の整理や加工ならびに伝達するために必要な基本的技術を修得することを目指す。さらに、プログラミングの基礎を学び、ソフトウェアについて理解を深める。</p>
学位授与方針の関連 到達目標	<p>《学位授与方針との関連》</p> <p>(1)確かな知識と技術の修得・研鑽</p> <p>心の健康の保持増進に寄与する者として必要な基本的知識及び技術を修得し、これを実践の場で活用することができる。</p> <p>① 《一般目標(GIO)》</p> <p>必要な情報を的確に収集し、それを整理できるようになる。また整理された情報を必要とする人に伝達する手段を学ぶ。ここでは高度な技術を学ぶことが目的ではなく、最低限必要な技術を確実に修得することを目指す。</p> <p>《個別目標(SBOs)》</p> <p>①メールや SNS のマナーやルールについて、根拠を示しながら説明することができる。</p> <p>②表計算ソフト(エクセル)を使って基本的演算、グラフ作成ができ、与えられたデータの処理ができる。</p> <p>③文書表現やビジュアル表現について、適切で効果的に利用することができる。</p> <p>④プレゼンテーションソフト(パワーポイント)を使ってスライドを作成し、プレゼンテーションができる。</p> <p>⑤プログラミングの基礎を習得し、ソフトウェアによる情報処理のしくみを説明することができる。</p>
授業計画	<p>*** <担当教員> ***</p> <p>⑥ 田中 薫</p> <p>*** <授業計画> ***</p> <p>②④ 1.情報の運用とセキュリティ[講義・演習]</p> <p>情報の運用とセキュリティについて解説する。</p> <p>2.数値分析[講義・演習]</p> <p>エクセルを用いて数値分析の基礎を解説する。</p> <p>3.インターネットコミュニケーション[講義・演習]</p> <p>SNS や Web 上のマナーやルールについて解説する。</p> <p>4.文書表現[講義・演習]</p> <p>ビジネス文書について解説する。</p> <p>5.プレゼンテーションとビジュアル表現[講義・演習]</p> <p>プレゼンテーションの意義から手法までを解説する。</p> <p>6.プレゼンテーション・スライド作成 1[講義・演習]</p>

	<p>パワーポイントを用いてプレゼンの資料を作成する。</p> <p>7.プレゼンテーション・スライド作成 2[講義・演習]</p> <p>パワーポイントを用いてプレゼンの資料を作成する。</p> <p>8.プレゼンテーション・プレゼン 1[講義・演習]</p> <p>作成した資料を使いプレゼンテーションを行う。</p> <p>9.プレゼンテーション・プレゼン 2[講義・演習]</p> <p>作成した資料を使いプレゼンテーションを行う。</p> <p>10.プログラミング・基礎解説 1[講義・演習]</p> <p>プログラミングの基礎的な命令や関数について解説する。</p> <p>11.プログラミング・基礎解説 2[講義・演習]</p> <p>プログラミングの基礎的な命令や関数について解説する。</p> <p>12.プログラミング・プログラム作成 1[講義・演習]</p> <p>各自、プログラムを作成する。</p> <p>13.プログラミング・プログラム作成 2[講義・演習]</p> <p>各自、プログラムを作成する。</p> <p>14.プログラミング・プレゼン 1[講義・演習]</p> <p>作成したプログラムをプレゼンする。</p> <p>15.プログラミング・プレゼン 2[講義・演習]</p> <p>作成したプログラムをプレゼンする。</p> <p>★フィードバック方法:授業内試験のフィードバックは講義内で行う。</p>
授業外学習(予習・復習等)の 具体的内容と必要な標準的な 時間	<p>1.予習:授業に関連した教科書の情報運用の章を読んでおくこと。</p> <p>2.予習:授業に関連した教科書の数値分析の章を読んでおくこと。</p> <p>3.予習:授業に関連した教科書のインターネットコミュニケーションの章を読んでおくこと。</p> <p>4.予習:授業に関連した教科書の文書表現の章を読んでおくこと。</p> <p>5-9.予習:授業に関連した教科書のプレゼンテーションおよびビジュアル表現の章を読んでおくこと。</p> <p>10-15.予習:授業に関連した教科書のビジュアル表現の章を読んでおくこと。</p> <p>※1-15.復習:予習および授業で扱った教科書の内容をノートにまとめておくこと。</p> <p>※全ての回、予習は45分、復習は30分必要とする。</p> <p>※授業外学習時間は60時間必要であるため、不足分は休暇等を利用して復習すること。</p>
テキスト	<p>テキスト名:考える 伝える 分かちあう 情報活用力</p> <p>ISBNコード:978-4-908434-25-9</p> <p>出版社名:noa 出版</p>
参考書	
成績評価の方法・基準	<p>⑦ 定期試験実施:無 再試験実施:無</p> <p>成績評価方法:課題(50%)、プレゼンテーション(50%)</p>
URL	
備考	<p>USB フラッシュメモリーを持参してください。</p> <p>《実務経験のある教員による授業科目》</p> <p>科目代表教員の实務経験有無:無</p>

開講開始年度	2021
授業コード	1SA111C
担当教員	坪下 幸寛
科目	情報処理論 C
単位数	⑤ 必修 2 単位
授業概要	<p>③ 医療分野においてもコンピュータによる資料整理やインターネットによる情報収集が欠かせない。社会に出てからはもちろん、在学中もこれらの知識は実習や卒業研究などで必須である。</p> <p>ここでは、実際にコンピュータを使用しながら情報の整理や加工ならびに伝達するために必要な基本的技術を修得することを目指す。さらに、プログラミングの基礎を学び、ソフトウェアについて理解を深める。加えて、データ駆動型社会への転換の中で必須となっているデータサイエンスの基礎知識習得を目指す。</p> <p>データサイエンスについては、オンデマンドを活用して解説する。オンデマンドでは、1. 社会におけるデータ・AI 利活用(社会で起きている変化、社会で活用されているデータ、データ・AI の活用領域、データ・AI 利活用のための技術、データ・AI 利活用の現場、データ・AI 利活用の最新動向)、2. データリテラシー(データを読む、データを説明する、データを扱う)、3. データ・AI 利活用における留意事項(データ・AI を扱う上での留意事項、データを守る上での留意事項)を解説する。</p>
学位授与方針の 関連 到達目標	<p>《学位授与方針との関連》</p> <p>(1)確かな知識と技術の修得・研鑽</p> <p>心の健康の保持増進に寄与する者として必要な基本的知識及び技術を修得し、これを実践の場で活用することができる。</p> <p>① 《一般目標(GIO)》</p> <p>必要な情報を的確に収集し、それを整理できるようになる。また整理された情報を必要とする人に伝達する手段を学ぶ。ここでは高度な技術を学ぶことが目的ではなく、最低限必要な技術を確実に修得することを目指す。</p> <p>《個別目標(SBOs)》</p> <p>①メールや SNS のマナーやルールについて、根拠を示しながら説明することができる。</p> <p>②表計算ソフト(エクセル)を使って基本的演算、グラフ作成ができ、与えられたデータの処理ができる。</p> <p>③文書表現やビジュアル表現について、適切で効果的に利用することができる。</p> <p>④プレゼンテーションソフト(パワーポイント)を使ってスライドを作成し、プレゼンテーションができる。</p> <p>⑤プログラミングの基礎を習得し、ソフトウェアによる情報処理のしくみを説明することができる。</p> <p>⑥データサイエンスの基礎を修得し、データサイエンスについて概説することができる。</p>
授業計画	<p>*** <担当教員> ***</p> <p>⑥ 坪下 幸寛</p> <p>オンデマンド担当:大森 拓哉、坪下 幸寛、吉田 清隆、橋本 晃生</p> <p>*** <授業計画> ***</p> <p>②④ 1.情報の運用とセキュリティ[講義・演習]</p> <p>情報の運用とセキュリティについて解説する。</p> <p>2.数値分析[講義・演習]</p> <p>エクセルを用いて数値分析の基礎を解説する。</p> <p>3.インターネットコミュニケーション[講義・演習]</p> <p>SNS や Web 上のマナーやルールについて解説する。</p> <p>4.文書表現[講義・演習]</p> <p>ビジネス文書について解説する。</p>

	<p>5.プレゼンテーションとビジュアル表現[講義・演習] プレゼンテーションの意義から手法までを解説する。</p> <p>6.プレゼンテーション・スライド作成 1[講義・演習] パワーポイントを用いてプレゼンの資料を作成する。</p> <p>7.プレゼンテーション・スライド作成 2[講義・演習] パワーポイントを用いてプレゼンの資料を作成する。</p> <p>8.プレゼンテーション・プレゼン 1[講義・演習] 作成した資料を使いプレゼンテーションを行う。</p> <p>9.プレゼンテーション・プレゼン 2[講義・演習] 作成した資料を使いプレゼンテーションを行う。</p> <p>10.プログラミング・基礎解説 1[講義・演習] プログラミングの基礎的な命令や関数について解説する。</p> <p>11.プログラミング・基礎解説 2[講義・演習] プログラミングの基礎的な命令や関数について解説する。</p> <p>12.プログラミング・プログラム作成 1[講義・演習] 各自、プログラムを作成する。</p> <p>13.プログラミング・プログラム作成 2[講義・演習] 各自、プログラムを作成する。</p> <p>14.プログラミング・プレゼン 1[講義・演習] 作成したプログラムをプレゼンする。</p> <p>15.プログラミング・プレゼン 2[講義・演習] 作成したプログラムをプレゼンする。</p> <p>★フィードバック方法:授業内試験のフィードバックは講義内で行う。</p> <p>②④ オンデマンド授業</p> <p>オンデマンド授業の視聴については、授業進行との兼ね合を考慮した上で適時指示する。</p> <p>視聴後、オンデマンド授業内容について試験を実施する。</p> <p>1. 社会におけるデータ・AI 利活用[講義] 社会で起きている変化と活用されているデータ。AI の活用事例</p> <p>2. データ・AI 利活用のための技術[講義] AI 利活用の現場と最新の動向について</p> <p>3. データリテラシー・データを読む[講義] データを読解について</p> <p>4. データリテラシー・データを扱う[講義] データの取り扱いと活用</p> <p>5. データ・AI 利活用における留意事項[講義] データや AI の利活用と留意点について</p> <p>★フィードバック方法:授業内試験のフィードバックや質問等のサポートは、WEB 等オンラインで行う。</p>
<p>授業外学習(予習・復習等)の具体的な内容と必要な標準的な時間</p>	<p>1.予習:授業に関連した教科書の情報運用の章を読んでおくこと。</p> <p>2.予習:授業に関連した教科書の数値分析の章を読んでおくこと。</p> <p>3.予習:授業に関連した教科書のインターネットコミュニケーションの章を読んでおくこと。</p> <p>4.予習:授業に関連した教科書の文書表現の章を読んでおくこと。</p> <p>5-9.予習:授業に関連した教科書のプレゼンテーションおよびビジュアル表現の章を読んでおくこと。</p>

	<p>10-15.予習:授業に関連した教科書のビジュアル表現の章を読んでおくこと。</p> <p>※1-15.復習:予習および授業で扱った教科書の内容をノートにまとめておくこと。</p> <p>※全ての回、予習は45分、復習は30分必要とする。</p> <p>オンデマンド授業について</p> <p>下記テキストの各章を予習し、視聴後、確認試験を受講する。</p> <p>※授業外学習時間は60時間必要であるため、不足分は休暇等を利用して復習すること。</p>
テキスト	<p>テキスト名:考える 伝える 分かちあう 情報活用力</p> <p>ISBNコード:978-4-908434-25-9</p> <p>出版社名:noa 出版</p> <p>データサイエンス入門第2版 ISBN978-4-7806-0730-7 学術図書出版社</p>
参考書	
成績評価の方法・ 基準	<p>⑦ 定期試験実施:無(オンデマンド授業の定期試験も無) 再試験実施:無(オンデマンド授業の再試験も無)</p> <p>成績評価方法:課題(40%)、プレゼンテーション(40%)、オンデマンド授業の確認試験(20%)</p>
URL	
備考	<p>USB フラッシュメモリーを持参してください。</p> <p>《実務経験のある教員による授業科目》</p> <p>科目代表教員の实務経験有無:無</p>

開講開始年度	2021
授業コード	1SA1380
担当教員	三浦 大志
科目	心理学統計法
単位数	⑤ 必修2単位
授業概要	③ 心理学において、データや統計法は必要不可欠である。そのため、この授業では心理統計法の基礎的な事項について説明する。心理学研究の際に統計を効果的に利用出来るようになることが重要であるので、高度な数学的理解は求めない。難しい数式の理解や暗記も求めない。演習(統計処理の作業)やコメントシートなどを随時取り入れる予定である。
学位授与方針の関連 到達目標	<p>《学位授与方針との関連》</p> <p>(1)確かな知識と技術の修得・研鑽 心の健康の保持増進に寄与する者として必要な基本的知識及び技術を修得し、これを実践の場で活用することができる。</p> <p>(4)主体的な問題解決能力 人の心と身体に関心を持ち、自ら問題を発見し、解決に必要な情報を、根拠に基づいて統合し、解決できる。</p> <p>① 《一般目標(GIO)》 心理学をよく理解するために必要である基本的な統計の手法を学び、記述統計・推測統計について理解できる。また、統計を日常生活と結びつけることによって、統計的なものの考え方を身につけることができる。</p> <p>《個別目標(SBOs)》</p> <p>①尺度水準や代表値、散布度や相関係数などの記述統計の概念を理解できる。</p> <p>②これらの値を算出できる。</p> <p>③t検定やカイニ乗検定などの統計的仮説検定を理解できる。</p> <p>④これらの検定を実行できる。</p>
授業計画	<p>⑥ *** <担当教員> *** 三浦 大志、斎藤 聖子 *** <授業計画> ***</p> <p>②④ 1.心理学統計法について[講義・演習・アクティブラーニング] 心理学統計法について概観するとともに、この授業について説明する。</p> <p>2.代表値と散布度[講義・演習・アクティブラーニング] 平均値などの代表値や分散・標準偏差などの散布度について学ぶ。</p> <p>3.標準化[講義・演習・アクティブラーニング] z得点などの標準得点について学ぶ。</p> <p>4.2つの変数の関係 1[講義・演習・アクティブラーニング] 散布図と相関・共分散について学ぶ。</p> <p>5.2つの変数の関係 2[講義・演習・アクティブラーニング] 相関係数とその性質について学ぶ。</p> <p>6.推測統計の基礎 1[講義・演習・アクティブラーニング] 母集団と標本の関係について学ぶ。</p>

	<p>7.推測統計の基礎 2[講義・演習・アクティブラーニング] 正規分布について学ぶ。</p> <p>8.推測統計の基礎 3[講義・演習・アクティブラーニング] 点推定・区間推定について学ぶ。</p> <p>9.統計的仮説検定 1[講義・演習・アクティブラーニング] 検定とは何かについて学ぶ。</p> <p>10.統計的仮説検定 2[講義・演習・アクティブラーニング] 仮説・p 値・2 種類の誤りに関して学ぶ。</p> <p>11.統計的仮説検定 3[講義・演習・アクティブラーニング] 適切な検定の選択方法について学ぶ。</p> <p>12.t 検定 1[講義・演習・アクティブラーニング] 独立した標本の検定について学ぶ。</p> <p>13.t 検定 2[講義・演習・アクティブラーニング] 対応のある標本の検定について学ぶ。</p> <p>14.質的変数の検定[講義・演習・アクティブラーニング] カイニ乗検定について学ぶ。</p> <p>15.まとめ、小テスト[講義・アクティブラーニング・小テスト実施] これまでの授業をふり返りながら、心理学統計法についてもう一度考える。小テストを行い、そのフィードバックも行う。</p> <p>※すべての回、全教員で担当する。</p> <p>★フィードバック方法：授業の最後に提出するコメントシートのフィードバックは次回の講義で行う。</p>
授業外学習(予習・復習等)の具体的な内容と必要な標準的な時間	<p>1-14. 予習：各回のテーマについて、対応する範囲の教科書を読んでおくこと。 復習：授業で習った内容をノートにまとめておくこと。 (予習 30 分・復習 60 分)</p> <p>15. 予習：小テストに向けてこれまでの内容をすべて理解する。 復習：小テストを踏まえてこれまでの内容を自分なりにふり返り、理解を深める。 (予習 15 時間・復習 2 時間)</p> <p>※心理学統計法は、知識の積み重ねがとても大事である。そのため、毎回の授業内容について復習しておくことが必要不可欠である。</p> <p>また、耳慣れない用語を含む概念を 90 分で完全に理解することは難しいため、授業の内容に対応する範囲の教科書を事前に読むことを推奨する。該当範囲については、前の授業の最後にアナウンスする。</p> <p>※授業外学習時間は 60 時間必要であるため、不足分は休暇等を利用して学習すること。</p>
テキスト	「よくわかる心理統計」山田 剛史、村井 潤一郎 ISBN: 978-4-623-03999-9 ミネルヴァ書房
参考書	「心理・教育のための統計法<第 3 版>」山内 光哉 サイエンス社
成績評価の方法・基準	<p>定期試験実施：無 再試験実施：無</p> <p>⑦ 成績評価方法：提出課題(毎回の授業の最後に提出)(40%)、第 15 回の授業で行う小テスト(60%)</p>
URL	
備考	<p>第 1 回の授業で授業方針を詳しく説明するので、必ず出席すること。</p> <p>《実務経験のある教員による授業科目》</p>

	科目代表教員の実務経験有無:無
--	-----------------

開講開始年度	2021
授業コード	1SA1220
担当教員	出嶋 靖志
科目	公衆衛生学
単位数	⑤ 必修 1 単位
授業概要	③ 公衆衛生学とは「社会における組織的な働きかけにより、疾病を予防し、寿命を延ばし、身体的・精神的機能を増進させる科学であり技術である」と、定義されている。公衆衛生学の領域は多岐に亘っているが、本講では各分野の基礎的な事項についての解説を行う。
学位授与方針の関連到達目標	<p>《学位授与方針との関連》</p> <p>(4)主体的な問題解決能力 人の心と身体に関心を持ち、自ら問題を発見し、解決に必要な情報を、根拠に基づいて統合し、解決できる。</p> <p>(5)高い倫理観 他者を尊重し、自己を律し、心理的支援を要する者や地域社会のために貢献することができる。</p> <p>(6)国際的視野を持って地域で活動する能力 多様な価値観や異文化理解に立脚した心理的支援を行うことができる。また、グローバル社会に向けて自らが果たす役割を考え、活動することができる。</p> <p>① 《一般目標(GIO)》 公衆衛生学の基本について理解するとともに、健康について多視点で考える能力を身につける。</p> <p>《個別目標(SBOs)》</p> <p>①公衆衛生学の基本概念と(健康科学)について説明できる。</p> <p>②自分自身の進路と医学・保健学(健康科学)との関わりについて説明できる。</p> <p>③人生の様々なステージにおいて重要な疾病と健康維持・増進について説明できる。</p>
授業計画	<p>*** <担当教員> ***</p> <p>⑥ 出嶋 靖志、照屋 浩司、岡本 博照</p> <p>*** <授業計画> ***</p> <p>②④ 1.公衆衛生学概論[講義・質問応答](出嶋) 公衆衛生学の概念について学ぶ。</p> <p>2.健康と疾病[講義・質問応答](出嶋) 健康の定義、健康と疾病との関係について解説する。</p> <p>3.環境保健[講義・質疑応答](出嶋) 環境と健康との関わりについて学ぶ。</p> <p>4.産業保健[講義・質問応答](出嶋) 労働環境と働く人々の健康について学ぶ。</p> <p>5.疫学概論[講義・質問応答](出嶋) 人の健康を集団として把握する疫学について学ぶ。</p> <p>6.人口統計[講義・質問応答](出嶋) 環境と人間との関係を評価する指標の一つである人口について基本的考え方を学ぶ。</p> <p>7.成人保健[講義・質問応答](出嶋) 加齢とともに起きる健康状態の変化について学ぶ。</p>

	<p>8.高齢保健・小テスト[講義・質問応答・小テスト](出嶋) 老化とともに起きる健康状態の変化について学ぶ。さらにこれまでのまとめとして小テストを行う。</p> <p>9.学校保健[講義・質問応答](岡本) 学校保健について学ぶ。</p> <p>10.母子保健[講義・質問応答](岡本) 母子保健について学ぶ。</p> <p>11.地域保健[講義・質問応答](岡本) 地域保健について学ぶ。</p> <p>12.精神保健[講義・質問応答](岡本) 精神保健について学ぶ。</p> <p>13.保健衛生行政[講義・質問応答](照屋) 保健衛生行政の仕組みについて学ぶ。</p> <p>14.医療保障制度[講義・質問応答](照屋) 健康保険などの医療保障制度について学ぶ。</p> <p>15.まとめ[小テスト・まとめ](照屋・岡本) これまでの授業内容についてまとめ、小テストを実施し、学生の理解を確かなものとする。</p> <p>★フィードバック方法：課題レポートを課した場合のフィードバックは次回の講義で行う。</p>
授業外学習(予習・復習等)の具体的な内容と必要な標準的な時間	<p>1-7.予習:教科書の該当ページを自分で探し、読む。</p> <p>8.予習:教科書の該当ページを自分で探し、読む。これまでの授業内容を復習する。</p> <p>9-14.予習:教科書の該当ページを自分で探し、読んでおく。</p> <p>15.予習:これまでの授業内容を復習しておく。</p> <p>※1-15.復習:習った内容を自分なりにまとめる。</p> <p>※全ての回、予習は45分、復習は45分必要とする。</p> <p>※授業外学習時間は30時間必要であるため不足分は休暇等を利用して復習すること。</p>
テキスト	「衛生学・公衆衛生学第2版」(鈴木・高坂・出嶋・笹澤 共著)ISBN:978-4-263-24169-1 医歯薬出版
参考書	<p>1.「国民衛生の動向」厚生統計協会</p> <p>2.「エッセンシャル 社会・環境と健康 第2版第9刷」高島 豊、櫻井 裕 編著 医歯薬出版 2017年</p> <p>3.「最新臨床検査学講座 公衆衛生学 第1版 第4刷」照屋 浩司、川村 堅 著 医歯薬出版 2018年</p> <p>その他、適宜紹介する。</p>
成績評価の方法・基準	<p>⑦ 定期試験実施:無 再試験実施:無</p> <p>成績評価方法:小テスト(40%)、最終レポート(60%)。</p>
URL	
備考	<p>※テキストは毎年、修正・更新されているので、必ず最新の17刷を購入すること。最新版は大学の教科書販売で入手できる。</p> <p>※「医学概論」と「公衆衛生学」で同じテキストを使用するが2冊購入する必要はない。</p>

<p>※授業を Zoom で行う場合は、学生の通信環境が様々であることを考慮して、録画してオンデマンドで見られるようにするので、授業に参加できなかった場合は録画を見ておくこと。</p> <p>※UNIPA による情報配信に注意すること。</p> <p>★この科目は 1 回 45 分授業で 15 回実施します。再履修の学生の受講方法については初回の授業で説明します。</p> <p>《 実務経験のある教員による授業科目 》</p> <p>科目代表教員の実務経験有無:無</p>
--